

専門書
教育関係者、
各種スポーツ
指導者

戦後、新たな教育課程として取り入れられた「武道（柔道、^{しな}撓競技、剣道、弓道）」に関する指導書を集成

体育・スポーツ書集成

民和文庫研究会編

企画・編集責任者 中村民雄（福島大学名誉教授）
石井隆憲（日本体育大学教授）

第Ⅱ回 戦後学校武道指導書 全五巻



クレス出版

体育・スポーツ書集成 第II回

『戦後学校武道指導書(全五巻)』の刊行について

民和文庫研究会代表(福島大学名誉教授) 中村 民雄

平成二〇年三月に告示された小・中学校学習指導要領(高等学校は平成二一年三月告示)は、「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、小学校から高等学校までの二二年間を見通して、各種の運動の基礎を培う時期、多くの領域の学習を経験する時期、卒業後少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようになる時期といった発達の段階を踏まえ、中学校一・二年生の「武道」領域を必修化した。また、「武道」領域は、「我が国固有の伝統や文化に、より一層触れる事ができるようにすることが重要である。」ことも銘記され、改正された教育基本法第二条の「教育の目標」第五項に繋がる内容となっている。なお、この方針は次期の学習指導要領においても踏襲され、「グローバル化する社会の中で、我が国固有の伝統と文化への理解を深める観点から、日本固有の武道の考え方に触れることができるよう内容等について一層の改善」が求められている。

そこで、本シリーズの『体育・スポーツ書集成 第II回・戦後学校武道は、「我が国固有の伝統と文化への理解を深め」、そうした考え方に触れるため

にも、武道が禁止されていた昭和二〇年代、先人達が「伝統として武道の何を残し、何を民主化し、文化として残そうとしたのか」、自問自答しながら作り上げられた「学校武道」の手引書とその解説書を探り上げた。

そのことはまた、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて準備が本格化している今日、招致の席上で世界にアピールした「おもてなし」の心、それは何なのか、ひとり一人の行動が問われているのである。メダルの数もさることながら、東京で開催することを機に、日本及び日本人のアイデンティティを再認識し、体育・スポーツ分野の伝統を考え、「民族固有の伝統や文化」を次世代に引き継いでもらうためにも、その原点である昭和二〇年代の「学校武道」、そこで培われた成果と課題を再検討したい。

伝統とは、旧態依然として変わらなければ因循姑息なものとして時代から取り残されてしまう。内や外からの衝撃によってある部分を新しい様式と結合させて再構成し、新たな伝統を創造する契機としなければならぬ。そうした武道の伝統の再構成を試みた昭和二〇年代の「学校武道」をふり返ることは、「おもてなし」の心や日本及び日本人のアイデンティティを解くカギとなるのではなからうか。

第II回 戦後学校武道指導書 全五巻

〔第一巻〕学校柔道(1)

学校柔道指導の手引(案)

講習会資料/一九五一年

〔内容〕第一章 新しい学校柔道、第二章 目標と指導の方針、第三章 指導内容、第四章 管理と指導法、第五章 指導内容の解説

学校柔道

●大瀧忠夫・松本芳三・小川長治郎/一九五一年/不味堂書店

〔内容〕前編 総論(第一章 学校柔道の変遷、第二章 学校柔道の意義、第三章 学校柔道の指導とその内容、第四章 指導法と管理、第五章 評 価、後編 技 術(第一章 柔道技術の概要、第二章 学校柔道の技術、第三章 技術教材の解説、第四章 補助運動の実際)

〔第二巻〕学校柔道(2)、学校弓道 新しい学校柔道——その科学的根拠と合理的指導——

塩谷宗雄/一九五一年/目黒書店

〔内容〕第一章 新しい学校柔道、第二章 目標とその指導方針、第三章 指導内容、第四章 管理と指導法、第五章 投技の基本、第六章 投 技、第七章 固 技、第八章 柔道の起原とその発達、第九章 寒稽古並びに暑中稽古、第十章 柔道が身体発育に及ぼす影響、第十一章 日本人の体力は欧米人に比して劣っているか

学校柔道指導の手びき

文部省/一九五一年/明治図書出版

〔内容〕まえがき、第一章 新しい学校柔道、第二章 目標と指導の方針、第三章 指導内容、第四章 管理と指導法、第五章 指導内容の解説

学校弓道指導の手びき

文部省/一九五二年/小笠原書房

〔内容〕まえがき、第一章 新しい学校弓道、第二章 学校弓道の目標と指導方針、第三章 指導内容、第四章 管理と指導法、第五章 指導内容の解説

〔第三巻〕 擣競技

規程の解説と基本

全日本擣競技連盟編/一九五一年/妙義出版社

〔内容〕一 緒 論、第二章 擣競技の教育的意義、第二章 擣競技規程の解説、第三章 擣競技の基本と指導

剣道とシナイ競技

小西康裕/一九五二年/川津書店

〔内容〕剣道入門篇(一) 剣道とは、二 礼儀と修行について、三 道 場、四 業に入るまで、五 業の基本、六 基本動作、七 稽 古、八 試 合、九 形の意味、十 日本剣道形、十一 着 装、十二 刀(竹と鐵)、十三 諸流とその想、しない競技入門篇(しない競技普及の現状、しない競技とは、しない競技の規程、しない競技の基本と指導)

学校しない競技指導の手びき

文部省/一九五二年/東風社

〔内容〕第一章 学校におけるしない競技、第二章 指導目標、

〔第四巻〕 学校剣道(1)

学校剣道指導の手びき

文部省/一九五三年/東洋館出版社

〔内容〕まえがき、第一章 新しい学校剣道、第二章 指導目標、第三章 指導内容、第四章 管理、第五章 競技規則と審判要領

学校剣道——指導の手びき解説——

全日本剣道連盟編/一九五三年/新剣道社

〔内容〕まえがき、第一章 学校剣道の性格、第二章 指導目標、第三章 指導内容、第四章 学校剣道の指導と管理、第五章 競技規則と審判要領

〔第五巻〕 学校剣道(2)

学校剣道指導の手びき

文部省/一九五七年/東洋館出版社

〔内容〕第一章 学校剣道の性格、第二章 指導目標、第三章 指導内容、第四章 指導計画、第五章 練習指導法、第六章 理論的内容の解説、第七章 技能的内容の解説と指導上の注意、第八章 練習と試合、第九章 試 合、第十章 教科時外の計画と運営、第十一章 評 価、第十二章 指導者

すぐ活用できる 中学校剣道の指導

学校剣道研究会編/一九五八年/修文社

〔内容〕第1章 学校剣道の性格、第2章 指導目標、第3章 指導内容、第4章 指導計画、第5章 学習指導法、第6章 評 価、第7章 技能的内容の解説とその指導、第8章 練習場と用具、第9章 指導者

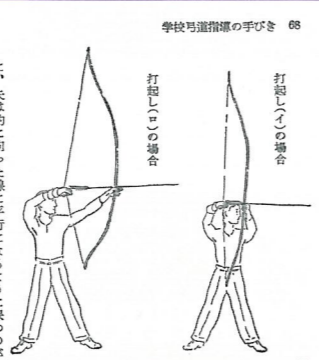


「第五〇回」の如く、腰を前に突き出し、体を後ろに反らせ、その勢いで相手の体を前方に振り上げる様に抱き上げ、振り上げた相手の体の遠所を利用して両手で相手の体を自分の左腰の方に引きつけると共に第五一四の如く左腰を入れ腰を右の方に捻って投げるのである。

3 指導上の注意
イ、腰を上げて相手を持ち上げる機会を捉えた相手の体の元を姿勢に返らそうとする瞬間が、
ロ、抱き上げる手の動きよりも、むしろ腰の動きで抱き上げるのである。

4 指導方法
最初は相手に技を掛けさせ、後ろから抱き上げる動作を反復指導し、次に抱き上げて左腰に移す動作を繰り返して行わせ、それ等の動作が一通り出来るようになってから前述の分解的順序に従って約束的に移腰の基礎動作を跳躍、膝跳、浮跳、背負投等の色々々な技を併せて十分に指導する。

第二巻「新しい学校柔道」より



引分けは左右等に引ける動作を行う。骨から「引取り」と称されたが、矢角を引くという発音が響いて押す力が加えられがちなので、引き分ける発音を示すために現在では「引分け」としている。

第一段「打射し」の場合は正面に打射した姿勢から、両方の拳を左方に移動させ、打射し(右)の場合は左腕側に打射した姿勢から、いずれも左手は斜左方に、右手は頭の高くなるように打射する。

第二段「引分け」の時、両拳はほぼ水平に、矢は的に向った線に平行にならぬ様に保つのがよい。第二段以上引分けの場合でも、前の位置から左の力を平均的に、左手はしかりと弓を握ったまゝ矢の的に向って腕を伸ばし、右手は肘で引く姿勢で弦をひき、矢の的の長さを「引分け」に引分け、矢の位置が水平に、傾いてくると、口の



引分けの指導

第五巻 指導内容の解説

の上段で引き納める。
射の動作は、常に「べり」と、なだらかに、一つ一つの動作から動作を成すのである。流暢なく、又立ち目立つてはならない。そして無理に力をかけて、折角、足踏み、開選り、弓橋を歪ませるなど、身体が曲がり、やがんだりないことが大切であり、これが正しく行われると、弓矢と身体の間接文字が正しく伝達するのである。

第六巻

会とは引分けの完成された状態をいう。4までの練習段階はこの会に到達するために踏んで来たもので、身体、精神、弓矢が一体となり、満ち足りて正に発射の機した頂点で、この時、矢は正しく的の中心に向っておらねばならない。矢は、主として右の眼を用い、左拳の左腕側の中心線を見通して定む。(前巻参照)左の眼は、開いたまま、主として右の眼の強力を補助して練習すればよい。拳の高さは距離の遠近、弓の強弱、矢の軽重などによって変化する。

第二巻「学校弓道指導の手びき」より

第7章 技能的内容の解説とその指導 123

の打ちにならないようにさせる。

(ロ) 打ったとき、左足を速かにひき寄せさせる。

(ハ) 初めは、一打、一打を大きく、正確に、ゆとりと打ち、段々に小さく正確に、速く打つようにさせる。

ロ 小手一刷

方法 相手の右小手に打ち込み、相手が手もとを抜いたため失敗したら直ちに右(左)腕を打つのである。

指導上の注意 (イ) 小手一面に準じて行わせる。

ハ 面一刷

方法 相手の面に打ち込み、相手が面打ちを受けて手もとがあがったところを右(左)腕を打つと、つばせり合(第 8 図)や接近しているとき、ひき面を打ち、相手が面打ちを受けて手もとがあがったところを右(左)腕を打つと二つの場合がある

指導上の注意 (イ) 開合(相手との距離および位置関係)によって、進み退き、または開いたりして打つことができるようにさせる。

(ロ) その他は、小手一面に準じて行わせる。

ニ 小手一面一刷

122 中学校剣道の指導

(2) 2、3段打ちのわざ
最初の打ちが失敗したらすぐ相手の生じた次の部位を打つわざを二段打ちのわざといひ、第二の打ちも失敗したら、さらに第三の部位を打つわざを三段打ちのわざといふのである。

このわざの練習は、一つ一つを正確に、しかも打ちと打ちの間が連続することが大切である。

イ 小手一面

方法 相手の右小手に打ち込み、相手が退き、押さえたため失敗したら直ちに正(左、右)面に打ち込むわざである。

指導上の注意 (イ) 右小手持と正面打が連続して、二つ

第五巻「すぐ活用できる 中学校剣道の指導」より

第Ⅰ回 戦後保健体育指導書 全七巻

尾川 翔大 解説

- 第一巻 学校体育指導要綱
定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-976-0
- 第二巻 新小学校体育
定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-977-7
- 第三巻 新中学校体育
定価 14,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-978-4
- 第四巻 小中学校の保健教育
定価 13,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-979-1
- 第五巻 学習指導要領—小学校
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-980-7
- 第六巻 学習指導要領—中学・高校
定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-981-4
- 第七巻 学習指導要領—体育科編
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-982-1
- 揃定価 93,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-983-8

第Ⅱ回 戦後学校武道指導書 全五巻

矢野 裕介・坂本 太一 解説

- 第一巻 学校柔道 (1)
定価 17,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-984-5
- 第二巻 学校柔道 (2)、学校弓道
定価 15,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-985-2
- 第三巻 境競技
定価 11,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-986-9
- 第四巻 学校剣道 (1)
定価 10,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-987-6
- 第五巻 学校剣道 (2)
定価 13,000 円 (税別) ISBN 978-4-87733-988-3
- 揃定価 66,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-989-0

A5判/上製函入/クロス装/C3337

第1回 2017年6月25日刊行

第2回 2017年11月25日刊行

クレス出版 好評既刊書 (定価はすべて税別)

戦後の新しい学習指導要領のもとで、どのような試みがなされ、どのような成果を残してきたか——、現代の体育授業の改善へ、手がかりとなる資料を「理論」と「実践」に分けて復刻

戦後体育実践資料集 全4巻

岡出 美則 編・解説

- 第1巻 指針としての指導書、解説書 定価 28,000 円 ISBN978-4-87733-957-9
- 第2巻 カリキュラムの開発 定価 19,000 円 ISBN978-4-87733-958-6
- 第3巻 実践展開に向けた示唆 定価 20,000 円 ISBN978-4-87733-959-3
- 第4巻 実践を語る 定価 26,000 円 ISBN978-4-87733-960-9

揃定価 93,000 円 ISBN978-4-87733-961-6 (セット)



戦後体育学習指導資料集 全7巻

岡出 美則 編・解説

- 第1巻 師範体育、体育のカリキュラム 定価 16,000 円 ISBN978-4-87733-896-1
- 第2巻 新しい小学校 体育学習の指導 定価 10,000 円 ISBN978-4-87733-897-8
- 第3巻 体育の学習指導 小学校篇 上巻 定価 12,000 円 ISBN978-4-87733-898-5
- 第4巻 体育の学習指導 小学校篇 下巻 定価 14,000 円 ISBN978-4-87733-899-2
- 第5巻 体育の学習指導 中等学校篇 上巻 定価 10,000 円 ISBN978-4-87733-900-5
- 第6巻 体育の学習指導 中等学校篇 下巻 定価 16,000 円 ISBN978-4-87733-901-2
- 第7巻 小学校体育の学習指導 定価 14,000 円 ISBN978-4-87733-902-9

揃定価 92,000 円 ISBN978-4-87733-903-6 (セット)

